

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成30年3月30日

計画の名称	奥羽越南部広域観光活性化計画																								
計画の期間	平成24年度 ~ 平成28年度 (5年間)	交付対象	福島県(山形県、新潟県と連携)																						
計画の目標	平成23年3月に発生した東日本大震災や原発事故、同年7月の新潟福島豪雨により観光業の落ち込みがある中、全国に誇れる食、自然、イベントを中心に、新しい観光資源の発見と開発、また、地域の特長を活かしたまちづくりを進めるとともに、高速道路、新幹線及び在来線を生かした新潟・山形・福島三県の連携による広域観光の振興に取り組み、観光業全体のボトムアップと広域観光の活性化を図る。																								
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災により落ち込んだ新潟山形福島交流圏域における入込観光客数を、震災前の状態に回復させる。 東日本大震災により落ち込んだ新潟山形福島交流圏域における延べ宿泊者数を、震災前の状態に回復させる。 																								
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H23)</th> <th>中間目標値 (H26)</th> <th>最終目標値 (H28)</th> </tr> <tr> <td>① 新潟山形福島交流圏域における入込観光客数の回復 (新潟山形福島交流圏域における、計画期間最終年の入込観光客数の三県合計値を、震災前のH22の値まで回復させる)</td> <td>3 県計13,728万人 (福島県 3,521万人)</td> <td>3 県計15,448万人 (福島県 4,839万人)</td> <td>3 県計16,594万人 (福島県 5,718万人)</td> <td>※最終目標値欄の数値は、H22年度の数値である。 中間評価：平成28年度 事後評価：平成29年度</td> </tr> <tr> <td>② 新潟山形福島交流圏域における延べ宿泊者数(観光目的)の回復 (新潟山形福島交流圏域における、計画期間最終年の延べ宿泊者数の三県合計値を、震災前のH22の値まで回復させる)</td> <td>3 県計1,363万人 (福島県 494万人)</td> <td>3 県計1,459万人 (福島県 574万人)</td> <td>3 県計1,523万人 (福島県 628万人)</td> <td></td> </tr> </table>								定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H23)	中間目標値 (H26)	最終目標値 (H28)	① 新潟山形福島交流圏域における入込観光客数の回復 (新潟山形福島交流圏域における、計画期間最終年の入込観光客数の三県合計値を、震災前のH22の値まで回復させる)	3 県計13,728万人 (福島県 3,521万人)	3 県計15,448万人 (福島県 4,839万人)	3 県計16,594万人 (福島県 5,718万人)	※最終目標値欄の数値は、H22年度の数値である。 中間評価：平成28年度 事後評価：平成29年度	② 新潟山形福島交流圏域における延べ宿泊者数(観光目的)の回復 (新潟山形福島交流圏域における、計画期間最終年の延べ宿泊者数の三県合計値を、震災前のH22の値まで回復させる)	3 県計1,363万人 (福島県 494万人)	3 県計1,459万人 (福島県 574万人)	3 県計1,523万人 (福島県 628万人)	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																					
	当初現況値 (H23)	中間目標値 (H26)	最終目標値 (H28)																						
① 新潟山形福島交流圏域における入込観光客数の回復 (新潟山形福島交流圏域における、計画期間最終年の入込観光客数の三県合計値を、震災前のH22の値まで回復させる)	3 県計13,728万人 (福島県 3,521万人)	3 県計15,448万人 (福島県 4,839万人)	3 県計16,594万人 (福島県 5,718万人)	※最終目標値欄の数値は、H22年度の数値である。 中間評価：平成28年度 事後評価：平成29年度																					
② 新潟山形福島交流圏域における延べ宿泊者数(観光目的)の回復 (新潟山形福島交流圏域における、計画期間最終年の延べ宿泊者数の三県合計値を、震災前のH22の値まで回復させる)	3 県計1,363万人 (福島県 494万人)	3 県計1,459万人 (福島県 574万人)	3 県計1,523万人 (福島県 628万人)																						
全体事業費	合計 (A+B+C)	7,375百万円	A	7,220百万円	B	0百万円	C	155百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	2.1%															

事後評価 (中間評価)

○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期	
事後評価 (中間評価) の実施体制	事後評価の実施時期
	最終目標値に対する実績値が確定した翌年度
土木部内検討会にて評価を行う。	公表の方法
	福島県公式ホームページによる公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)				全体事業費 (百万円)	備考
											H24	H25	H26	H27		
1-A1-6	道路	一般	福島県	直接	—	都道府県道	改築	(主)土湯温泉線 中町	現道拡幅 L=0.4km	福島市					74	完了
1-A1-7	道路	一般	福島県	直接	—	都道府県道	改築	(主)浪江国見線 佐須峠	現道拡幅 L=1.1km	伊達市					83	完了
1-A1-8	道路	一般	福島県	直接	—	都道府県道	改築	(主)郡山大越線 山田	現道拡幅 L=1.2km	田村市					125	完了
1-A1-9	道路	一般	福島県	直接	—	都道府県道	改築	(主)飯野三春石川線 黒木	現道拡幅 L=0.9km	郡山市					384	継続計画にて残工事を実施
1-A1-10	道路	一般	福島県	直接	—	都道府県道	改築	(主)勿来浅川線 本坂2	現道拡幅 L=0.6km	鮫川村					48	完了
1-A1-11	道路	一般	福島県	直接	—	都道府県道	改築	(主)会津若松裏磐梯線 金山	現道拡幅 L=0.9km	北塩原村					216	継続計画にて残工事を実施
1-A1-13	道路	一般	福島県	直接	—	都道府県道	改築	(一)石筵本宮線 玉井	現道拡幅 L=2.2km	大玉村					363	完了
1-A1-14	道路	一般	福島県	直接	—	都道府県道	改築	(一)下郷会津本郷線 関山	バイパス L=1.1km	会津美里町					143	完了
1-A1-16	道路	一般	福島県	直接	—	都道府県道	改築	(一)赤留塔寺線 佐賀瀬川	バイパス L=0.5km	会津美里町					87	継続計画にて残工事を実施
1-A1-17	道路	一般	福島県	直接	—	都道府県道	改築	(一)壺楊本町線 関都	現道拡幅 L=1.8km	猪苗代町					96	継続計画にて残工事を実施
1-A1-18	道路	一般	福島県	直接	—	都道府県道	改築	(一)熱塩加納山都西会津線 一ノ俣橋	現道拡幅 L=0.8km	喜多方市					269	継続計画にて残工事を実施
1-A1-21	道路	一般	福島県	直接	—	都道府県道	改築	(一)小唄上郡山線 井出	バイパス L=1.8km	檜葉町					174	完了
1-A1-22	道路	一般	福島県	直接	—	都道府県道	改築	(一)片倉末続停車場線 末続	現道拡幅 L=0.6km	いわき市					58	完了
1-A1-23	道路	一般	福島県	直接	—	都道府県道	改築	(一)国見福島線 元宿	現道拡幅 L=0.2km	桑折町					143	継続計画にて残工事を実施
1-A1-24	道路	一般	福島県	直接	—	都道府県道	改築	(主)白河羽鳥線 羽太	現道拡幅 L=0.1km	西郷村					86	完了
1-A1-25	道路	一般	福島県	直接	—	都道府県道	改築	(主)会津高田上三寄線 馬越	現道拡幅 L=0.9km	会津美里町					57	完了
1-A1-27	道路	一般	福島県	直接	—	都道府県道	交安	(一)会津若松熱塩温泉自転車道線 大戸町 外	自転車道設置 L=17.8km	会津若松市 外					505	継続計画にて残工事を実施
1-A1-28	道路	一般	福島県	直接	—	都道府県道	改築	(主)喜多方河東線 熊倉	現道拡幅 L=1.7km	喜多方市					121	継続計画にて残工事を実施
1-A1-33	道路	一般	福島県	直接	—	国道	交安	国道121号 田島 外	簡易パーキング 1ヶ所改修 N=8箇所	南会津町 外					69	完了
1-A1-34	道路	一般	福島県	直接	—	都道府県道	修繕	(主)原町二本松線 安達ヶ原	舗装改良 L=2.0km	二本松市					62	完了
1-A1-35	道路	一般	福島県	直接	—	都道府県道	修繕	(主)飯野三春石川線 稲沢	舗装改良 L=8.0km	本宮市					78	完了
1-A1-36	道路	一般	福島県	直接	—	都道府県道	修繕	(一)二本松三春線 和田	舗装改良 L=1.5km	本宮市					86	継続計画にて残工事を実施
1-A1-37	道路	一般	福島県	直接	—	都道府県道	修繕	(主)白石国見線 外 小坂外	舗装改良 L=2.0km	国見町					60	完了

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H24	H25	H26	H27	H28		
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H24	H25	H26	H27	H28		
1-C-4	施設整備	一般	福島県	直接	—	—	吾妻・安達太良地域適正利用促進事業	歩道整備(標識)、避難小屋	磐梯朝日国立公園						2	他計画にて残工事を実施
1-C-5	施設整備	一般	福島県	直接	—	—	磐梯地域適正利用促進事業	歩道整備(柵、標識)、公衆便所	磐梯朝日国立公園						6	他計画にて残工事を実施
1-C-6	施設整備	一般	福島県	直接	—	—	尾瀬地域適正利用促進事業	歩道整備(木道・標識)	尾瀬国立公園						105	他計画にて残工事を実施
1-C-7	活動促進	一般	福島県	間接	協議会外	—	磐梯山ジオパーク推進事業	看板設置、広報活動	北塩原村外						8	継続計画にて引き続き事業を実施
1-C-8	活動促進	一般	福島県	直接	—	—	「道の駅」広域観光PR事業	観光振興計画の策定	県内全域						15	完了
1-C-9	施設整備	一般	福島県	直接	—	—	福島空港情報提供カメラシステム更新事業	カメラN=5台、制御盤N=1式更新	玉川村						19	完了
										合計					155	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			
1-C-4	1-A1-58 福島吾妻裏磐梯線吾妻山周辺事業と一体となって、吾妻・安達太良地域の木道等の整備を行うことにより、豊かな自然を生かした観光資源の魅力を高め、観光客入込数の増加を計る。															
1-C-5	1-A1-98 会津若松裏磐梯線磐梯山周辺事業と一体となって、磐梯地域の木道等の整備を行うことにより、豊かな自然を生かした観光資源の魅力をより高め、観光客入込数の増加を図る。															
1-C-6	1-A1-4 国道352号御池周辺事業と一体となって、尾瀬地域の木道等の整備を行うことにより、豊かな自然を生かした観光資源の魅力をより高め、観光客入込数の増加を図る。															
1-C-7	磐梯山地域は噴火によってできた湖沼群や荒廃からよみがえった緑の大地が貴重な地質遺産である。1-A1-29の歩道設置事業他と一体となって、磐梯山ジオパークへの訪問者が楽しめるツーリズム活動を支援する公開講演会やガイド育成、看板設置等の事業を行うことで、交流圏における入込観光客と宿泊客の回復が期待される。															
1-C-8	1-A1-113, 115, 116の道路改築事業、1-A1-53, 55の道路修繕事業と一体となって、奥会津の道の駅(三島町、柳津町)をモデルに地元自治体や観光協会、NPO等と連携して情報発信の具体手法『WEB開設(HP、Twitter等)、メーリングリスト等による観光物産フェア案内、他の道の駅と連携した共同物産フェア開催、地域資源の6次化戦略、等々』を検討し、それらの手法を盛り込んだ「道の駅」を核とした地域振興支援のための計画を策定する。計画策定後は、社会実験を実施し経済効果の有無について検証、今後の活動内容等の検討を行い、地元自治体や観光協会、NPO等の事業主体者へ事業を引き継ぎ、過疎中山間地域の産業(観光、農業、商工業)の維持と、地域資源のPR、県内外の道の駅と連携した魅力的な観光周遊ルートの形成することにより、県内全体の観光活性化が期待される。															
1-C-9	1-A1-108 古殿須賀川線北須橋改築事業と一体となって、情報提供用カメラ等の改修を実施することによりホームページで提供している駐車状況等のweb画像を現状より敏速かつ見やすく提供することにより、空港を利用する観光客の利便性を図る。															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・国道121号（田島外）にてインバウンド等対策で、道の駅トイレを改修したことにより、施設の利便性が向上し、南会津地域の観光客の増加に寄与した。 ・福島吾妻裏磐梯線（吾妻山）にて、舗装改良を実施したことにより、拠点施設へのアクセスが向上し、磐梯・猪苗代地域の観光客の増加に寄与した。 ・布沢横田線の現道拡幅等を行った結果、大型バスの通行がスムーズとなり、観光客の移動の安全性が向上し、アクセス性も向上した。 ・尾瀬地域について木道や標識の整備を行った結果、観光客等の安全性や利便性が向上し、また自然環境を保護することにより観光資源の魅力が高まった。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（3県） 新潟山形福島交 流圏域における 入込観光客数の 回復	最終目標値	3県 16,594万人 (福島県 5,718万人)	目標値と実績値 に差が出た要因	3県の観光入込客数は順調に回復し、最終目標値である平成22年度の水準以上の数値を達成できた。 (福島県は、原発事故等の影響により3県の中で唯一最終目標値に達しなかった。)
		最終実績値	3県 17,275万人 (福島県 5,276万人)		
	指標②（3県） 新潟山形福島交 流圏域における 延べ宿泊者数 (観光目的)の 回復	最終目標値	3県 1,532万人 (福島県 628万人)	目標値と実績値 に差が出た要因	3県の延べ宿泊者数（観光目的）は、最終目標値から減少し、目標を達成できなかった。 (福島県は、原発事故等の影響により最終目標値には達しなかった。)
		最終実績値	3県 1,228万人 (福島県 469万人)		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> ・(主)原町二本松線（安達ヶ原）外の舗装改良により、拠点施設へのアクセスがスムーズになり、通過交通も増加傾向にある。 ・五百川、安達太田川、野尻川、田の口沢川、原高野川の河川改修により、拠点施設やアクセス道路を保全し、観光客等の移動の安全性が向上した。 ・小名浜港1・2号ふ頭地区のボードウォーク改良により、観光客等の移動の安全性が向上した。 ・情報提供カメラ等の改修によりホームページで提供している駐車場状況等のWeb画像をより敏速かつ見やすく提供することにより空港利用者の利便性が向上した。 			
3. 特記事項（今後の方針等）					
<p>3県の観光入込客数は平成22年度の水準以上に回復した反面、延べ宿泊者数（観光目的）の回復が達成出来なかった。目標を下回った延べ宿泊者数のうち、外国人宿泊者数については、東日本大震災前年の宿泊者数を上回るなど回復傾向にあり、効果がでてきている。今後、国内外の順調な観光入り込み客数の伸びを宿泊につなげていけるよう、各県において宿泊に対する魅力度を向上させる取組をこれまで以上に行う必要がある。こうした取組を行う一方で、拠点施設へのアクセス性の向上による観光の支援について、次期計画である「山形福島新潟広域観光活性化計画」（平成29年度～平成33年度）において着実にすすめていく。あわせて、延べ宿泊者（観光目的）を増加させるために必要な施策について、引き続き3県で検討を行っていく。</p>					

広域連携事業 (参考図面)

